

第57回 水道週間

児童生徒作品展
入賞作品集

会津若松市水道部

第57回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

【図画の部】

・ 小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	1
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	4
・ 中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	7

【書写の部】

・ 小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	10
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	11
・ 中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	13

【標語の部】

・ 小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	15
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	16
・ 中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	17

【作文の部】

・ 小学校低学年	理事長賞	18
・ 小学校高学年	教育長賞	20
・ 中学校	管理者賞	22

【図画の部】

〈小学校低学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立東山小学校 1年 佐藤 愉日



〔議長賞〕 会津若松市立門田小学校 2年 片桐 乙愛



〔教育長賞〕 会津若松市立謹教小学校 3年 佐々木 望奈



〔理事長賞〕 会津若松市立東山小学校 1年 五十嵐 苺子



〔管理者賞〕 会津若松市立東山小学校 1年 鷺見 奨真

■ 審査講評

水は「遊びの相手」「遊びの道具」と捉えていた幼児期から小学生になって水との関わりを見つめ直そうとしています。水はどんなところで、どのように使われているのかも気付きます。

このコンクールは新しい気付きと表し方の工夫への良い機会になっています。

自分と水との関わりや思いを率直にのびのびと表現したものは、技法の上手・下手を超えて、見る人の心に響いてきます。そういう良い作品がたくさんありました。

難をいえば、題材に少し偏りが見られるので、新しい視点に気付くよう、ヒントを与えてあげれば内容も表現もより豊かになっていくと思われれます。

〈小学校高学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立謹教小学校 6年 鈴木 愛渚



〔議長賞〕 会津若松市立行仁小学校 6年 青木 り子



〔教育長賞〕 会津若松市立謹教小学校 5年 鈴木 心渚



〔理事長賞〕 会津若松市立城北小学校 5年 平 瑠梨



〔管理者賞〕 会津若松市立永和小学校 4年 安部 陽太

■ 審査講評

日常使われている水道と自分との関わりをしっかりと見
つめ直した作品が多く見られました。

どの作品も、水や水道を入れた構図を工夫し、丁寧に描
かれていました。特に着彩では、水の色が効果的に見える
ように、色づかいを工夫しているために、さわやかな印象
を受ける作品ばかりでした。

写実ばかりではなく、平面をデザインする作品も見られ、
楽しみながら描いている様子が伺えました。

〈中学校〉



〔市長賞〕 会津若松市立第一中学校 2年 熊田 里穂



〔議長賞〕 福島県立会津学鳳中学校 2年 小柴 美穂



〔教育長賞〕 福島県立会津学鳳中学校 2年 大竹 由希子



〔理事長賞〕 会津若松市立一箕中学校 3年 渡部 理恵



〔管理者賞〕 会津若松市立一箕中学校 2年 金子 瑠華

■ 審査講評

中学生の作品は、水と生活との関わりや、水の大切さ、有り難さだけでなく、環境問題や生命尊重などのテーマ性を追求した作品が多く見られました。

着色が丁寧で発色の美しい作品や、独自の視点で水道の大切さを訴える作品など、審査させていただきながら、「なるほど」と考えさせられる作品もありました。

中学生ということで、彩色の技術や表現方法の工夫、レタリングの技術などを追求することも勿論ですが、心で感じた水の美しさを表現しようという気持ちを大切にしてほしいと思います。

【書写の部】

〈小学校低学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立大戸小学校
2年 山田 絵里加



〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校
3年 安田 可歩



〔理事長賞〕

会津若松市立行仁小学校
3年 中村 真悠子



〔教育長賞〕

会津若松市立鶴城小学校
3年 高橋 里緒



〔管理者賞〕

会津若松市立城北小学校
2年 長谷川 奈々

〈小学校高学年〉



〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校
5年 星 晴夏

■ 審査講評

上位の作品は課題だけでなく、氏名もしっかり書かれていました。

1・2・3年生らしく、のびやかで素直な字が多く見られました。

「み」と「す」の結びは、筆の運びが難しかったと思いますが、

皆さんよく頑張っていました。

止め・はね・はらいに気をつけて、丁寧に書いてある作品が多く、練習の成果がよく表れていました。

これからも書くことを楽しみ、進んで取り組んでほしいと思います。



〔議長賞〕

会津若松市立鶴城小学校
6年 歌川 さくら



〔理事長賞〕

会津若松市立荒館小学校
5年 菅井 咲良



〔教育長賞〕

会津若松市立一箕小学校
5年 三富 彩千香



〔管理者賞〕

会津若松市立鶴城小学校
5年 姜 咲那

■ 審査講評

小学校高学年で半紙に四文字書くのは、文字の大きさ、バランス等大変難しいと思われませんが、どの子も丁寧に良く書いていました。

「水」のはね、左右のはらい、「道」「週」のしんによう、「間」のもんがまえと文字の形、バランスをとって書くことは大人でも難しいのに、基本を踏まえて正しく書いているのに感心しました。

審査とはいえ、甲乙つけるのは困りましたが、上位の作品は手本などをよく見て気持ちを込めてずいぶん練習したことが伺えました。作品として仕上がった喜びを感じたことは、良い経験になったこととでしょう。と同時に「水道」の大切さも実感することになったことと思います。

〈中学校〉



〔議長賞〕

会津若松市立第二中学校
2年 板橋 瀬菜



〔市長賞〕

福島県立会津学鳳中学校
3年 横山 光海



〔理事長賞〕

会津若松市立第五中学校
2年 佐藤 日奈子



〔教育長賞〕

会津若松市立第二中学校
3年 板橋 萌依



〔管理者賞〕

会津若松市立第二中学校
3年 笠原 夕希菜

■ 審査講評

中学校は行書課題ですが、行書の筆づかいが良くできた作品が多かったです。筆脈を意識して書かれた作品、特に上位の作品は丁寧な中にもリズムと流れのある美しい作品でした。また、名前も字配りを考えながら、行書の筆づかいで書かれていました。課題の練習とともに、氏名の練習も大切です。努力の跡が見られた作品が多かったです。

【標語の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立河東学園小学校 一年 夏井 梨希

福島県会津若松市立河東学園小学校 一年

氏名 夏井 梨希

みんな みんな みんな
だらばらば
だめですよ

〔議長賞〕

会津若松市立城西小学校 三年 藤田 晟斗

会津若松市立城西小学校 三年

氏名 藤田 晟斗

おいしい水
のどのトコネル
かみがれてく

〔教育長賞〕

会津若松市立小金井小学校 一年 湯田 大翔

こがねいしろう 学校 一年

氏名 湯田 大翔

ぼくのんで
あままたおみずは おはなにな

〔理事長賞〕

会津若松市立小金井小学校 一年 上高 理子

小金井小 学校 一年

氏名 上高 理子

のみたいな
あしたもみらいも
このおみず

〔管理者賞〕

会津若松市立神指小学校 三年 岩橋 悠希

神指小学校 三年

氏名 岩橋 悠希

じごくとあくしゅ
キューッとにぎって
せつやく名人

■審査講評

低学年の子どもたちは、水の大切さについて、自分の生活の中で感じ、そのことを素直な言葉で表現することができました。

1・2年生は、水や花に寄せる優しい気持ちが表れている作品に好感が持てました。

3年生は環境や未来のあり方にも目を向けた作品が多くなり、視点の広がりや考えの深さを感じました。

多くの子どもたちが、水や自然の大切さについて考えていることに、将来への希望を感じることができました。

〈小学校高学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立松長小学校 六年 後藤 悠真

松長小学校 六年

氏名 後藤 悠真

百年後 水があるとはかぎらない

〔議長賞〕

会津若松市立河東学園小学校 六年 鈴木 菜々穂

福島県会津若松市立河東学園小筆塚 六年

氏名 鈴木 菜々穂

その一てき、

未来を支える

小さな鍵

〔教育長賞〕

会津若松市立城南小学校 四年 金澤 海璃

城南小学校 四年

氏名 金澤 海璃

ほこりだね

きれいな水が

出る日本

〔理事長賞〕

会津若松市立鶴城小学校 六年 高橋 知也

鶴城小

学校 六年

氏名 高橋 知也

健康だ 会津の水を
飲むぼくら

〔管理者賞〕

会津若松市立一箕小学校 六年 橋内 凜

会津若松市立一箕小

学校 六年

氏名 橋内 凜

ジャバジャバと

むだな水音

耳に痛い

■審査講評

百年後の未来、今、私たちが使っている水は、果たして残っているだろうか……?という疑問を投げかけてくる作品に衝撃を受けました。そして、この恵まれた日本の水道環境を守るために、私たちにできる努力はないだろうか、少しでも無駄を減らす努力をしてみよう、と呼びかける作品も多かったです。この標語づくりが、身のまわりの水道や水の使い方について考えるきっかけになったであろうことが、伝わってきました。

〈中学校〉

〔市長賞〕

大熊町立大熊中学校 三年 村上 史弥

大熊町立大熊中学校 三年

氏名 村上 史弥

広めよう 世界すべてに 水道水

〔議長賞〕

会津若松市立第五中学校 二年 山岸 あい

若松第五中 学校 二年

氏名 山岸 あい

くぐり水

一滴減水

地球は平和

〔教育長賞〕

会津若松市立湊中学校 一年 佐藤 有珠

会津若松市立湊中 学校 一年

氏名 佐藤 有珠

部活後の体にしみる うまい水

〔理事長賞〕

会津若松市立第四中学校 三年 白井 ゆめ

会津若松市立第四中 学校 三年

氏名 白井 ゆめ

冷たい水 乾いた肌にしみいく

〔管理者賞〕

会津若松市立湊中学校 一年 渡部 由衣

会津若松市立湊中 学校 一年

氏名 渡部 由衣

すきとある水も心も守りたい

■審査講評

地球全体や世界の国々に目を向けた、広い視野の作品が輝いていました。水道設備が整い、当たり前前に水を使えることの幸せや、何気なく水を無駄づかいしている自分たちの習慣を振り返るものが多く、思わずハッとさせられました。また、部活動の後に水を飲む水道水のおいしさを、自らの経験をもとに瑞々しく伝える作品もあり、多くの人の共感を呼ぶであろうと思われしました。水との関わりを通して、世の中や自らの生活を捉え直すことに繋がったのだらうと感じました。

【作文の部】

〈小学校低学年〉

〔理事長賞〕

会津若松市立一箕小学校 三年 田崎 妃乃

水さん、ありがとう
一箕小 三年 田崎 妃乃
「ママ、お水もってきて。」
わたしは、毎日お風呂のゆびねにつかると、お母さんにこのせりふを言います。お風呂に入って、お母さんがもってきてくれた水をのむのがさいこうに嬉しいです。この水をもと、一日のつかれがとれるような気がします。
もともと、わたしは牛に「うのうれしきー」
があり、赤ちゃんのところから、のどがかわいた時には、いつも水をのんでいました。お母さんたちも、本当はほかのものがのみたかったのかもしれないが、ずっとわたしと同じで水をのんでいます。きゅう食の時もみんなは毎日牛に「うをのんでいます」が、わたしは水とうに水を入れてもっていつているので、学校でも水をのんでいます。ずっとのんでいるからか、わたしはのみ物の中で水が一番好きです。とくに、つめたくひえた水が大好き

です。
この間、テレビではほかの国の子どもが、にごった水をのんでいました。わたしは、びっくりして、どうしてにごった水をのむのかお母さんに聞きました。そして、水道から水が出てくるのは、日本では、ぶつつただけで、せいかいでは、当たり前ではないことを知りました。また、そういう国では、水道がないから遠くまで水をくみに子どもたちも行くことも知りました。
その後、図書館でちようび「リバナの男の子」という本を読みました。それにもやはり、にごった水をのんでいて、水もくみに行かないといけないと書いてあり、きれいな水をのめない子どもたちが多くいることも分かりました。わたしは、かわいそうで心がいたくなりました。せいかい中の子どもたちが、わたしのように、あったかいお風呂に入り、ゆびねでひえひえの水をのめたらいいな」と思いました。

わたしは、ほかの人よりも水をのむことが
多いので、これから今までよりももっとも
っと大切に水をつかっていきたいと思えます。

■審査講評

自分の生活経験から「水は大切」「水はおいしい」と思ったことを低学年らしい素直な言葉で表現されていました。

家族とのふれ合い、会話の中から学んだことを伝えたい、実践したいという思いにあふれていました。

表現の技法として題名の工夫、会話文による書き出しの工夫などがみられました。規定の字数を満たすようにご指導をお願いします。

〔教育長賞〕

会津若松市立謹教小学校 六年 鈴木 愛渚

命の水
謹教小 六年 鈴木 愛渚

「水が不足しているのは命にかかわるね。」
ネパールの地震のニュースを見ていた父母の
話が聞こえてきた。まだまだ余震が続き、野
外でテント生活を続けている人が多く、水不
足、食料不足が深刻で、約百四十万人の人
が支援を必要としているということだった。
新聞で赤ちゃんが救助されている写真を見
て、人ごとではないなと感じた。四年前の東
日本大震災の時のことを思い出した。多くの
人が被災し、最も大切なのは水道水の確保で
ある。人間の体の約六割は水分でできている
からだ。水分をとらずに、七十二時間以上す
ぎると命の危険にさらされるとも教えてもら
った。避難所での弱者は、体の不自由なお年
寄りや赤ちゃんだ。トイレを心配して水分を
とらなかつたおばあちゃんが体調を崩したり、
ミルクはあっても、衛生的なお湯を確保する
ことが難かしくて、ミルクや離乳食を作るの

も大変だったという話を父の友人から聞いた。
私の家に避難してきた、父の友人の赤ちゃん
は、生まれて一ヶ月ぐらいだったので、避
難所での生活はきびしく、体を清潔に保った
り、湯がまじやミルクを作ったりするお湯に
困り、我が家に寄ったのだ。た。
幸いにも日本は水道が整備されていて、給
水車で衛生的な水道水が運ばれたり、すばや
い対応ですぐに水道が復旧したりして、衛生
面は保たれたそうである。ネパールの赤ちゃん
んは大丈夫なのだろうか。簡易水道や井戸は
壊れ、のみ水も、ミルクの水も、体や傷口を
きれいに保つ水も、何もかも不足しているに
ちがいない。避難キャンプで列を作って、バ
ケツに入った同じ水で、何人もの子どもたち
が顔を洗っている様子も新聞の写真で見られ
た。私達はいつでもきれいでおいしい水を飲
めるのが当たり前と思っていたけれど、そん
な水を飲めない子ども達いることを知り、今
すぐくんで持って行ってあげたいなと思った。

わたしは、学校の体育や、陸上の練習の後に飲む水が何よりもおいしいと感じる。水道の蛇口から、きれいな水が、どんどんあふれてきて、生きかえったような気分になる。ほてってあつい手や顔を水でジャブジャブ洗いその後、ゴクゴクと飲んだ水が、口からのどを通って体じゅうにめぐっていくような感覚が大好きである。どんなに高級なジュースやお店で出される飲み物よりもずっとおいしいと感じる瞬間だ。

三年生の時に見学した浄水場で作られた水が、常に安定して送られてきて、蛇口をひねれば、家でも学校でも公園でも、同じように水が飲めることは、とても恵まれていて、幸せなことだと心から思った。きれいで安全な水道水があれば、健康は保たれるが、今の地震にあったネパールでは、病気の感染や流行さえもすでに心配されるということである。一刻も早く、日本のように安心して安全な水を届けてあげなければ命にか

かわる事態になっってしまうのだ。

日本の水道水は、世界に誇れる高度な技術で作り出されており、その衛生面での品質の高さと、おいしさは、世界一なのではないだろうか。そして、国のすみずみまで、水道が整備されている国もめずらしいのではないだろうか。

私は、プールに入ったり、お風呂に入ったりすることでも気持ちがよくて大好きだ。夏のプールでは、もぐって遠くの友達が見えるくらいきれいで、大量の水道水が使われている。おせんとくや、車を洗うとき、さらに庭の水まきにも水道の水を使うので、飲んでおいしい水を使うのがなんだかもったいなく考えてしまう時がある。

これから、命を守る水が、安心して、いつでもどこでも飲めることに感謝しながら、水源となる豊かな自然を守り、大切に生活していきたい。

のは日本ではどの位の種類のがあるのか調べた。みました。すると百三十二の水道事業体により作られていいる事が分かりました。その理由として、は水源が良いことをPRするペットボトルの水道水を販売し、売上げを水源林の保護に使用する災害備蓄用として製造し、配布・販売することにより防災の意識をもつてもらうこと。あとは給水開始から〇〇周年のPRなびの為です。

私も以前、猪苗代湖を水源としていいる滝沢浄水場で作られていいる、八重の水を飲んだ事がありませんが、とてもおいしいと思いました。私が住むこの会津からも安全でおいしい水道水が、ペットボトルで販売されている事は、とても誇らしい事だと思えます。家の蛇口から出てくる水が、それだけおいしいという事だからです。

私達は安全でおいしく水道水を、いつでも好きな時に好きなだけ使う事が出来ます。でもその便利さに慣れてはいけなしいと思えます。

私たちの住む地球上にある水は、そのほとんどのが海水であり、人間が飲んだり生活に使ったりする淡水は地球の水全体の二・五%しかありません。それは地球の水をふろおけ一杯分だとすると私達が使える水の量は大きい一杯と小さい一杯分にしかならないからです。日本の年間平均降水量は約一七一〇mmで世界の年間平均降水量の約二倍ととても恵まれていいるように見えます。でも日本は、狭い国土に人口が多、一人当たりの降水量を見るると、世界平均の約四分の一程度だといいう事でした。異常気象などで雨が降らない日が続けば、すぐに水不足になつてしまふのです。今豊富にある水がいつまでも続くと思わずに日々ごろから節約を心掛けていかなければなりません。

水を有効利用するための方法に、水の3Rといいうものがあるそうです。3Rとは、節水（リデュース）、再利用（リサイクル）、の頭文字を取。

た言葉で、私は初めて知りました。
 「節水」はいつでも簡単に誰でも出来る事
 だと思いません。私が信を付けている事は食器
 を洗う時に油汚れのひどいものは、洗う前に
 汚れをふき取り少ない水で食器を洗い終える
 ようにする事です。これだけでも使う水の量
 は減らせると思います。
 「再利用」とは使ったあとのあまり汚れて
 いない水を、もう一度使用する事です。母
 にどういう事をやってているのか聞いたとこ
 うどんやパスタをゆでた後のゆで汁を、油で
 汚れたフライパンやなべなどに入れてつけ置
 き洗いをすると、汚れが落ちやすくなるよう
 です。これで洗剤の量も減らせます。
 最後に、再利用です。これは、汚れた
 てしまった水を浄化し、再び利用する事です。
 これは食べ残しや飲み残しを下水に流さな
 いようにしたり、洗濯をする時の合成洗剤の量
 を減らしたりすること、下水処理施設での
 再利用をすること、下水処理施設での
 再生利用をすることが出来る事の事です。こ

のように水のろは、家庭で身近なところか
 ら取り組む事が可能だという事が分かり、ま
 た、毎日の生活の中で心掛けている事が、ろ
 Rそのものだ」と知りました。
 私達一人一人が水のろRを意識しながら生
 活していく事により、限りある資源である水
 を大切に次の世代まで残していかなくては
 けないと思いました。
 私達の生活に欠かせないこの水は、自然の
 恵みです。ふるさとのおいしい水に感謝して

これからも大切にしていきたいと思います。

■ 審査講評

応募数は少なかったですが、日頃から水や水道に関して多くの情報を収集し、その中から自分たちの生活とどう関わっているのかを考え、表現しようとする意識の高さを伺わせる内容になっていました。特に「水の3R」をいかに実生活の中で活用・実践していくかを訴えた作品は、すぐに誰でも実践できる内容で「水・水道」を大切に守っていききたいという思いに溢れていました。

◆審査員

- 図画の部…会津若松市立湊小学校 安部 美登利 先生
会津若松市立第一中学校 浅倉 佐知子 先生
水彩連盟会津支部 森田 慶一 先生
- 書写の部…会津若松市立門田小学校 岩澤 菜穂子 先生
会津若松市立一箕中学校 高笠 トシ子 先生
会津文化団体連絡協議会推薦 竹野 克雄 先生
- 標語の部…会津若松市立日新小学校 佐竹 美紀子 先生
会津若松市立北会津中学校 荒川 真彦 先生
あいづ川柳会 小林 悟 先生
会津文化団体連絡協議会推薦 福西 トモ子 先生
- 作文の部…会津若松市立城北小学校 堺 京子 先生
会津若松市立第五中学校 須貝 美香 先生
会津史学会 栗城 好次 先生

◆入賞者表彰式

日時 平成27年6月1日(月) 午後4時から
場所 会津若松市生涯学習総合センター會津稽古堂

★おわりに★

ここに掲載されている作品は、水道部のホームページで
もご覧いただけます。

他に、優秀賞(各5点)、佳作(各10点)も含めた全ての
入賞作品が全国展に送られ、審査されます。

みなさんからのたくさんのご応募、ありがとうございます
でした。来年も多くの作品をお待ちしております。

第57回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

平成 27 年 6 月 発行

発行 会津若松市水道部

編集 水道部総務課

〒965-0064 福島県会津若松市神指町大字黒川字石上33-2

TEL (0242) 22-6073 / FAX (0242) 22-6173

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/suido/>